

地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

【地震発生時刻】 2018年1月6日 0時54分頃 【震源地】東京湾 【マグニチュード】 4.7 (深さ71km)

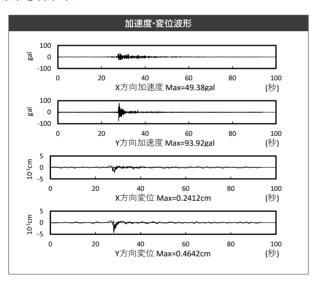
観測地点 東京都世田谷区 設置建物 コンクリート造(RC/SRC) 4階 / 5階建

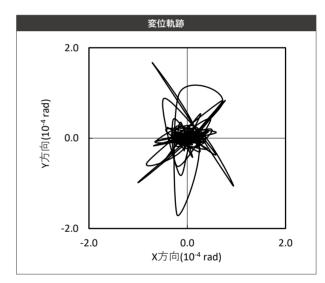
建物健全性評価: 健全 震度: 4 計測震度: 3.9

観測値から推定される固有周期はX方向0.4秒、Y方向0.3秒です。同規模の建物相当値であり、層間変形角も小さいことから健全と判定されます。

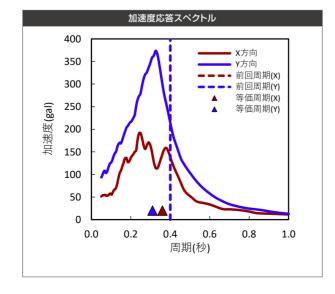
※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、 一切責任を負いません。

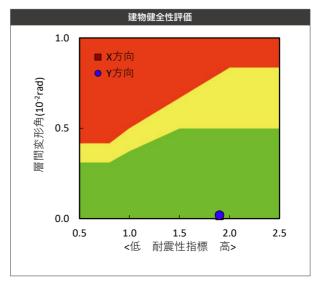
1 計測結果 計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。





2解析結果 解析結果から建物の健全性がわかります。





30年地震ハザード

今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率 42.2% 【ランク:E 高め】

表層地盤増幅率

地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ

1.39 【ランク:B やや低め】



地震ハザードカルテ 2017年版



□総合評価		
表層地盤	震度5弱以上となる確率	30年、50年 地震ハザード
地盤増幅率(Vs=	400m/5~地表) 震度6號	以上となる確率 C
Vs=1,100m/s上面资 深部地盤	PET A B	再現期間1000年の震度 長期間平均 ハザード
Vs=2,700m/	s上面深さ 再現期	/ 間1万年の震度
	ДП	

◯ 30年、50年地震ハザード			
超過確率の値[%]		震度5弱	99.8
人体00年間による高度以上の	30年	震度5強	89.9
今後30年間にある震度以上の 揺れに見舞われる確率の値		震度6弱	42.2
です。		震度6強	6.0
震度の値	30年	3%	6強
	304	6%	6弱
今後20年またけ50年間にまる店	50年	2%	6強
今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる震度の値です。		5%	6強
		10%	6弱
		39%	6弱
	30年	3%	99.5
地表の最大速度の値[cm/s]	304	6%	84.5
今後30年または50年間にある値		2%	120.1
以上の確率で見舞われる地表の	50年	5%	99.5
最大速度の値です。	304	10%	84.0
		39%	53.4

□表層地盤	
地盤増幅率(Vs=400m/s~地表)	1.39
微地形区分	ローム台地
30m平均S波速度	271m/s
ゆれやすさ 上位11% 30	
(上) 8 (日)	
~ 0.8 1.5 2.0 地盤增幅率(Vs=400m/s~b	2.5

□ハサ	ザードカ	ローブと影響地震	カテゴリー			
10	D-1		全ての地震 海溝型巨大地震 海溝型层源不特定地震 陸域浅発地震			
30年超過確率)°2	1:11	30年	3%		
98		1,1,1	[cm/s]	6%		
10	D-3	11111		2%		
		1://1	50年	5%	71.4	
			[cm/s]	10%	60.3	
10)·4	1 11		39%	38.3	
	0	50 100 150 基盤上の最大速度[cm/s]				
No.	地震名				震度6弱以上 の影響度[%]	
1		フィリピン海プレー ート内の震源を予め	特定しにくい地	!震	42.2	
2		太平洋プレートのプ の震源を予め特定し		プレート内	30.6	
3		南海トラフの地震			23.0	

Vs=2,700m/s上面の深さ				3,293m			
400	500	1000	S波速 1500	度[m/s] 2000	2500	3000	3500
800 - 1200 - <u>E</u> 1600 - to2000 -							
₹2400 - 2800 - 3200 -							
3600 - 4000							

□ 長期間平均ハザード						
	500年相当	6強				
震度の値	1000年相当 5000年相当	6強 6強				
長期間の再現期間に対応する	1万年相当	7				
震度の値です。	5万年相当	7				
	10万年相当	7				

Copyright© 2012-2017 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte